

人権作文

昨年度の阿蘇市人権作文集『かけはし』の作品の中から一部を紹介し、皆さんもぜひ、家族や身近な人との関係を見つめ直し、人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

きあじーの入院

阿蘇中学校 2年(現3年) 藤田 留奈

私には、お母さんのほうのおじいちゃんがいいます。名前は「喜明」です。だから、「きあじー」と呼んでいます。そのおじいちゃんは、今、食道がんで入院しています。

おじいちゃんは、今まで何回も食べ物を戻したり、せき込んだりしていました。だから、おじいちゃんと大阪のおっちゃん、おばちゃん、お母さんが病院に行きました。私も行きたかったけど、学校だったので行きませんでした。学校でもとても心配しました。

家に帰ったらお母さんはいませんでした。おばあちゃんに聞いたら、「古城に行ったよ。」

と言っていました。何があったのか全然わかりませんでした。お母さんが帰ってきて、お母さんは、「食道がんで。だから、入院することになった。」

と言いました。私は(何を言っているんだ)と思いました。私はお母さんに、「何で? きあじーがそんな病気になるわけないやん。」

と言いました。お母さんは、「明日からだけん。」

と言って、部屋を出て行きました。

そしておじいちゃんは入院しました。会いたいなあと思っていたけど、お見舞いに行くと、私は泣いてしまいました。そうだったので、お見舞いには全然行きませんでした。

けれどお母さんが、

「『留奈に来てほしい』って言いよったよ。」

と言ったので、私は

「今度連れて行って。」

と頼んだら、お母さんは、

「分かった。絶対連れて行く。」

と約束してくれました。

そして病院にいくと、おじいちゃんは、髪の毛を全部切っていて、体には手術のあとや薬を入れるところなどたくさん傷がありました。私は涙が出てきました。お母さんは、

「あんたが泣いてどうすつとね。」

と言いました。なかなか涙が止まらなかったけど、がんばって涙をこらえました。泣くのをやめておじいちゃんに話しかけました。私はおじいちゃんに、

「ねえ、がんって治ると?」

と聞きました。おじいちゃんは、目をつぶってねむっていました。お母さんが、

「分かんない。」

と言いました。そして、それから病院に行くようにしました。

おじいちゃんは今も入院していて、手術などもしているから応援したいです。そして時間があれば会いに行つて、話をしたいです。

平成二十一年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より



道 阿蘇市波野 神楽苑 株式会社 神楽苑 〒869-2801 阿蘇市波野大字小地野1602 TEL 0967-24-2331 HP http://www.aso-kagura.ne.jp

広告

道の駅・波野「神楽苑」のレストランにて提供しているそばは、阿蘇市波野地区で栽培しているそばを100%使用しています。

本年は11月14日に新そば祭りが行われ、来場者にも新そばが振る舞われます。お誘い合わせの上、是非御来場下さいませ。

レストラン入口に JAのATMオープン!



ご活用くださいませ。